

氏名	塚本 智宏 (ツカモト チヒロ)
所属	名寄市立大学教養教育部
職名	教授
研究室連絡先	電話 01654-2-4194 代表 内線 3312 FAX 01654-3-3354 (事務局) E-mail tukamoto@nayoro.ac.jp
ホームページ URL	

学歴	1978年3月 北海道大学教育学部教育学科卒業 1986年3月 北海道大学大学院教育学研究科博士課程修了
職歴	1986 - 1988 日本学術振興会特別研究員 1988 - 1991 札幌学院大学他 非常勤講師 1992 - 2001 稚内北星学園短期大学助教授・教授 2000 - 2005 稚内北星学園大学教授 2005 - 2007 市立名寄短期大学教授 2006 - 名寄市立大学教授 現在に至る
学位	教育学博士 1986年3月 (北海道大学)
免許・資格	
研究分野	教育学・教育史学
現在の研究課題	ヤヌシュ・コルチャック子どもの権利思想研究 ロシア・ポーランド教育史研究
主な担当科目	教育学・教育原理・教育史

最近の主な研究・教育業績	<p>著書・論文など</p> <p>コルチャック 「子どもの権利の尊重」『季刊教育法』92号、I行Ⅱ研究所 1993</p> <p>帝政ロシアの学校教育制度と身分『ロシア史研究』第60号 1997年3月</p> <p>帝政期ロシア初等学校教授言語政策史について『北大教育紀要』第80号2000年6月</p> <p>ヤヌシュ・コルチャック「子どもの権利」の探究、『稚内北星大紀要』第2号 2002/3月</p> <p>ヤヌシュ・コルチャックの子どもの権利思想『子どもの権利研究』創刊号2002/7月</p> <p>『コルチャック 子どもの権利の尊重』、子どもの未来社、2004年6月</p> <p>『国家・共同体・教師の戦略 - 教師の比較社会史』(担当章「地下学校の教師-19世紀後半 20世紀初頭ロシア帝国領ポーランドの教育」) 昭和堂 2006年2月</p> <p>コルチャック先生の教育者教育 - 資料と解説 - 『名寄市立大学紀要』第一巻 2007/3月</p> <p>コルチャックの子ども観と子どもの探求『市立名寄短期大学紀要』第四十巻 2007/3月</p> <p>学会報告</p> <p>ヤヌシュ・コルチャックによる「子どもの権利」の探求第61回教育史学会 2001/9月</p> <p>2003・2004・2005度日本教育学会ラウンドテーブル企画。</p> <p>“ヤヌシュ・コルチャック研究の魅力 - 研究の現状と課題 - ” など。</p> <p>第49回教育史学会コロキウム「西洋教育史研究の「現場」を訪ねる」2005/10/9</p> <p>第11回日本保育園保健学会 特別講演 「子どもの権利の尊重 子どもをいかに愛するか 」2005/10/15</p>
--------------	---

学会活動	1978-- 教育史学会会員、現在に至る 1986-- 日本教育学会会員、現在に至る。 1996-- ロシア史研究会会員、現在に至る。 2002-- 北海道教育学会会員、現在に至る 2002-- 北海道子ども学会会員、現在に至る。
------	---

社会活動	講演 2003/9 講演：子どもの権利条約 条約成立の歴史と精神 宗谷管内公立小・中学校事務職員協議会研修会 2004/11 講演：権利条約の父 コルチャック先生に学ぶ 札幌市主催 子どもを権利を考えるフォーラム 2004/11 講演：現代の子どもが求めているもの - 生徒指導上の課題と対応 - 北海道教育委員会主催 平成16年度生徒指導研究協議会 北海道教育庁宗谷教育局 2004/11 講演：子どもをいかに愛するか - 権利条約の精神的父コルチャック先生に 学ぶ - 札幌市西区主催 講演会 2005/11 講演：「子どもをいかに愛するか 権利条約の父コルチャックに学ぶ」 恵庭市発達・子育て推進協議会主催 2006/11 講演：「子どもをいかに愛するか」 北海道子どもの虐待防止協会道北支部宗谷地区主催講演会 2006/11 講演：「コルチャック 子どもの権利の尊重」 日本子どもを守る会，子どもの権利・教育・文化全国センター共催
------	--

コメント	稚内から名寄に南下してきて二年。 サハリンを眺める地より内陸深く。冷たい強風からしばれる空気に慣れるため。 以前の研究は帝政ロシアの歴史色、今はほとんどコルチャックの教育色。 学生もコルチャック色に染めるべく教育しています。 それって何色かと聞かれたらたぶん人間（ひと）色と答えます。 コルチャックってコルセットに似ていると学生にいわれて、 “そうか”といったけれど、会話を続けることができませんでした。 学園祭では焼鳥屋“こるちゃっく”を毎年やってます。 今のところコルチャック教育学をつくるのが夢・・・なんて。生きていて楽しいとか、 学問をやっていて充実しているとか、学生の前で自分が楽しいことを、夢を、語らな きゃ・・・だめだと最近学生から教えてもらいました。学生もそれで元気なるのだと。 コルチャックのどこがいいのか。例えばこんなことがいえること。 「ある日、森の中で話をしたときのこと、私ははじめて、子どもにではなく、子ども と話をしたのである。それも、私が望むところの彼らがどうあるべきかということにつ いてではなく、彼ら自身がどのように望みどのようにありうるかということについて話 をしたのである。子どもには学ぶべき多くのことがあるということ、・・・私はそのと き理解したのである。」
------	---